

一般社団法人 日本創傷外科学会

## 専門医試験

～筆記試験過去問題集～

第2回専門医試験

問題 1) 顔面神経の分枝の中で、耳下腺管とほぼ平行に走行するのはどれか

1. 側頭枝
2. 頬骨枝
3. 頬筋枝
4. 下顎縁枝
5. 頸枝

問題 2) 骨折線が眼窩を通らないのはどれか

1. LeFort I 型骨折
2. LeFort II 型骨折
3. LeFort III 型骨折
4. 鼻篩骨骨折
5. 前頭骨・前頭洞骨折

問題 3) 誤った組み合わせはどれか

1. 正中神経麻痺・・・猿手変形
2. 尺骨神経麻痺・・・尺側鷲手変形
3. 橈骨神経麻痺・・・鉤爪手
4. 総腓骨神経麻痺・・・下垂足
5. 脛骨神経麻痺・・・踵足

問題 4) 手根管の中を通らないものはどれか

1. 正中神経
2. 橈側手根屈筋腱
3. 長母指屈筋腱
4. 浅指屈筋腱
5. 深指屈筋腱

問題 5) 指尖部損傷 (Finger tip injury) の際に用いられない皮弁は次のどれか

1. 指交叉皮弁
2. 逆行性中手動脈皮弁
3. Oblique triangular flap

4. 逆行性指動脈島状皮弁
5. 拇指球皮弁 (Thenar flap)

問題6) 自家培養表皮「ジェイス」(J-TEC 社製)が保険適応となっている、進達性Ⅱ度熱傷+Ⅲ度熱傷の受傷面積は体表面積の何%か

1. 10%以上
2. 15%以上
3. 20%以上
4. 25%以上
5. 30%以上

問題7) 手ないし手指の熱傷後に行った植皮術後の固定として Intrinsic plus position とする必要があるのはどちらか

1. 手掌側中心の熱傷
5. 手背側中心の熱傷

問題8) 褥瘡の管理方法で適切なのはどれか

1. 高機能マットレスでは体位変換は不要である
2. ヘッドアップでは仙骨部に褥瘡が生じやすい
3. 仙骨部褥瘡では坐位姿勢可能である
4. 仰臥位では踵部内側に褥瘡が生じやすい
5. 壊死組織が残っていても滲出液コントロール目的に局所陰圧閉鎖療法は有用である

問題9) 糖尿病性足潰瘍の病態で間違いはどれか

1. 知覚神経障害では胼胝を生じやすい
2. 運動神経障害ではアキレス腱短縮を生じる
3. 自律神経障害では Charcot 関節症になる
4. 骨髄炎では足趾がソーセイジ様変形になる
5. 末梢血管障害では足底に壊疽が生じやすい

問題10) 重症下肢虚血で適切なのはどれか

1. Fontaine 4度のみが重症下肢虚血である
2. 患肢挙上が有効である
3. 透析患者では血管の石灰化を生じやすい

4. 下腿3分枝がすべて閉塞する
5. 弾性ストッキングを装着すべきである

問題1 1) 放射線潰瘍で適切なのはどれか

1. 放射線治療後、数十年経てば発症しない
2. 癌化しない
3. 植皮術が有効である
4. 線維化を生じやすい
5. 血管障害をきたしにくい

問題1 2) ケロイドの電子線療法について誤りはどれか

1. 対象部位より深部の線量が急激に低下するため線量分布が優れている
2. 1回照射線量は5Gyが一般的である
3. 総線量は10~20Gyが一般的である
4. 小児に対しても安全に使用できる
5. ケロイドの再発率は抑制される

問題1 3) Vancourver scar scaleで評価項目に入っていないものはどれか

1. 色素沈着
2. 柔軟性
3. 瘢痕の高さ
4. 面積
5. 血行

問題1 4) 下記の記述で適切なのはどれか

1. ガラス片検出に、単純レントゲンは有用ではない
2. 木片検出にはCTが最も有用である
3. ガーゼ残存は肉芽腫になりやすい
4. シリコンは肉芽腫を形成しない
5. 吸収糸では縫合糸膿瘍は生じない